

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-509984(P2007-509984A)

【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2006-538385(P2006-538385)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/48	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/10	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	9/99	(2006.01)
C 0 7 K	14/435	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/547	
A 6 1 K	37/02	Z N A
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	11/16	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1

A 6 1 P 31/00
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 35/04
A 6 1 P 7/04
A 6 1 P 11/02
A 6 1 P 35/02
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 1 2 N 9/99
C 0 7 K 14/435

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月26日(2007.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療有効量のP E D Fを含有してなる、血管透過性の亢進が関与する疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項2】

P E D Fが配列番号1で表されるアミノ酸配列を有する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

P E D Fが、P E D F 4 4 A Aペプチドである請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

P E D F 4 4 A Aペプチドが、配列番号2で表されるアミノ酸配列を有する、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

P E D F 4 4 A Aペプチドが、アミノ酸残基の101番目のグルタミン酸、103番目のイソロイシン、112番目のロイシン及び115番目のセリンが置換されていない、治療有効量のP E D F 4 4 A Aペプチドの相同体である請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項6】

相同体が、配列番号3で表されるアミノ酸配列を有するP E D F 4 4 A Aペプチドと相同な配列を有するものである、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項7】

疾患が、敗血症、急性呼吸窮迫症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、又は増殖性の糖尿病性網膜症である、請求項1～6のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項8】

P E D F受容体を活性化する薬剤の治療有効量を含有してなる血管透過性の亢進が関与する疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項9】

薬剤が小分子である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

疾患が、敗血症、急性呼吸窮迫症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、又は増殖性の糖尿病性網膜症である、請求項8又は9に記載の医薬組成物。

【請求項11】

外因性P E D Fを含有してなる組織内の血管透過性を低減させるための医薬組成物。

【請求項 1 2】

外因性 P E D F が、外因性 P E D F 4 4 A A ペプチドである請求項 1 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

外因性 P E D F が、外因性 P E D F 4 4 A A ペプチドの相同体である請求項 1 1 又は 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

相同体の、アミノ酸残基の 1 0 1 番目のグルタミン酸、1 0 3 番目のイソロイシン、1 1 2 番目のロイシン及び 1 1 5 番目のセリンが置換されていないものである、請求項 1 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

医薬組成物が、組織の内皮細胞に投与するものである請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

組織が、眼組織、肺組織、又は腎臓組織である、請求項 1 1 ~ 1 5 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

治療有効量の P E D F 4 4 A A ペプチドを含有してなる血管新生の亢進が関与する疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 1 8】

P E D F 4 4 A A ペプチドが配列番号 2 で表されるアミノ酸配列を有する、請求項 1 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

P E D F 4 4 A A ペプチドが、アミノ酸残基の 1 0 1 番目のグルタミン酸、1 0 3 番目のイソロイシン、1 1 2 番目のロイシン及び 1 1 5 番目のセリンが置換されていない、P E D F 4 4 A A ペプチドの相同体である請求項 1 7 又は 1 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 0】

相同体が、P E D F 4 4 A A ペプチドと相同な配列である配列番号 3 で表されるアミノ酸配列を有する、請求項 1 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

疾患が、癌、又は増殖性の糖尿病性網膜症である、請求項 1 7 ~ 2 0 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

P E D F 受容体を活性化する薬剤の治療有効量を含有してなる血管新生の亢進が関与する疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 2 3】

薬剤が小分子である、請求項 2 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

疾患が癌、又は増殖性の糖尿病性網膜症である、請求項 2 2 又は 2 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

外因性 P E D F 4 4 A A ペプチドを含有してなる組織内の血管新生を低減させるための医薬組成物。

【請求項 2 6】

外因性 P E D F 4 4 A A ペプチドが、外因性 P E D F 4 4 A A ペプチドの相同体である請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

相同体の、アミノ酸残基の 1 0 1 番目のグルタミン酸、1 0 3 番目のイソロイシン、1 1 2 番目のロイシン及び 1 1 5 番目のセリンが置換されていない、請求項 2 6 に記載の医

薬組成物。

【請求項 28】

医薬組成物が、組織の内皮細胞に投与するものである請求項25～27のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 29】

組織が眼組織、又は癌性組織である、請求項25～28のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 30】

治療有効量のP E D F 4 4 A Aペプチドを含有してなる神経障害が関与する疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 31】

P E D F 4 4 A Aペプチドが配列番号2で表されるアミノ酸配列を有する、請求項30に記載の医薬組成物。

【請求項 32】

疾患が、神経変性疾患、又は虚血誘発性のものである、請求項30又は31に記載の医薬組成物。